

健康だより

市民課(国保係)
☎ 24-2222
健康医療課
☎ 53-2101
萩原保健センター
☎ 52-1230
下呂保健センター
☎ 25-2680
金山保健センター
☎ 32-4500
小坂保健センター
☎ 62-3443

国保特定健診・すこやか健診・さわやか口腔健診・国保人間ドック・がん検診延期のお知らせ

先月の健康だよりでもお知らせしましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、下呂市が例年6月から実施する健診(検診)は開始を延期しています。

集団健診(検診)は1日でも多くの検査が受けられることがメリットですが、「3密」を避けるため、今年度は集団健診(検診)で実施する内容を8月～9月と11月～2月に分けて実施します。

すでに予定されていた方には申し訳ありませんが、感染機会を減らすための対策となりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

健診(検診)の種類	内容	延期した日程	当初の予定
集団健診(検診)	国保特定健診 ぎふ・すこやか健診 若者健診 風しん抗体検査 前立腺がん検診 肝炎ウイルス検診	令和2年 8月～9月	令和2年 6月～7月
	胃がん検診(バリウム) 肺がん(結核)検診 大腸がん検診	令和3年 1月～2月	
医療機関健診(検診)	婦人科検診以外の健診(検診) ※さわやか口腔健診も含む	開始時期未定	令和2年6月～令和3年3月 ※健診(検診)内容によって実施時期は異なります
	子宮頸がん検診 乳がん検診	令和2年6月中旬以降 ～令和3年3月	令和2年5月～令和3年3月
国保人間ドック	下呂温泉病院・金山病院で市の助成を受けて実施する人間ドック	開始時期未定	令和2年6月～令和3年2月

また、医療機関健診(検診)や国保人間ドックの開始時期については、決まり次第、改めてお知らせいたします。

***受診に必要な受診券や日程詳細等のご案内は7月末に送付します。**
ただし、乳がん検診・子宮頸がん検診・胃がん検診(胃カメラ)・歯周疾患検診は、この案内とは別にご案内します。

【延期しない検診】

- ・保健センターや地区公民館で実施する乳がん検診・子宮頸がん検診(8月～10月)
- ・10月に実施する胃がん検診(胃カメラ) ※申込受付終了
- ・市内歯科医療機関にて実施する歯周疾患検診(6月～3月)

※今後の動向(国や県の方針、市内の感染者発生状況)によっては、中止になる場合があります。

【問合先】

市民課
☎ 24-22222 (内線1222)
萩原保健センター
☎ 52-12300 (内線640642)

下呂市立休日診療所

下呂市森801-10(下呂市民会館内)

☎ 24-1200

※事前に電話をしてお越しください。(予約はできません)

診療科目 内科、小児科
(急病患者に限ります)

診療日 日曜、祝日、年末年始

診療時間 午前9時～午後3時

診療受付時間 午前8時30分～午後2時30分

※受診の際は、必ず保険証やお薬手帳(ある場合)をお持ちください。

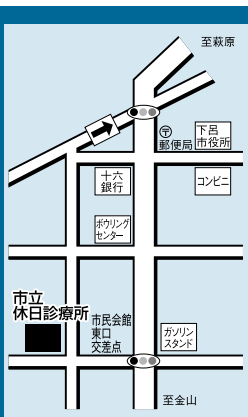
※急病患者専用のため、平常継続して受けている治療はご遠慮ください。

※事前電話の方の診察を優先にすることがあります。

6・7月の担当医

7月		6月	
26日(日)	小池利幸(小池医院)	7日(日)	大塚正議(森家耳鼻咽喉科)
24日(金)	村瀬寛紀(村瀬眼科)	14日(日)	近藤史郎(近藤医院)
23日(木)	奥村昇司(あくらクリニック)	21日(日)	阿部慎太郎(阿部医院)
19日(日)	大塚正議(森家耳鼻咽喉科)	28日(日)	小池利幸(小池医院)
12日(日)	中田宗彦(中田医院)	5日(日)	阿部親司(阿部医院)

※部内1Fの受付窓口は、JupiaCity。



※休日診療所の担当医は、地上デジタル放送ぎふチャン(8ch)のデータ放送でもご覧いただけます。

歯と口の健康週間

(6月4日～6月10日)

歯と口の健康についての正しい知識の普及啓発、歯周病疾患を自ら予防する習慣の定着を目的とした「歯と口の健康週間」が始まります。

歯周病は、糖尿病や心筋梗塞などの循環器疾患といった「全身の病気」と関連しています。そのため、歯と口の健康を保つことは、将来の生活習慣病の予防につながります。

下呂市では、歯周病の予防と早期発見を目的として40歳、45歳、50歳、

55歳、60歳、65歳、70歳（年度末日年齢）の方を対象にした歯周疾患検診を6月から3月まで実施しています。申し込みのあった方に、受診券を送付いたします。この機会にぜひ受診してください。

まめで得々健康ポイント事業の開催延期について

まめで得々健康ポイント事業は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮し開催を見合わせております。今年度の開催内容が決定しだい、あらた

めてご案内いたしますのでよろしくお願いたします。

狂犬病予防集合注射を追加実施します

狂犬病予防集合注射を6月3日（水）に追加実施します。愛犬の注射が済んでいない場合は都合のよい会場で接種してください。また、新しく犬を飼い始めた場合、生後91日以上は登録と予防注射が義務付けられています。未登録の場合は登録をお願いします。

【予防注射実施時間と会場】

小坂	9:00～9:10 小坂振興事務所前
萩原	9:35～9:45 下呂総合庁舎車庫前（羽根）
馬瀬	10:00～10:10 馬瀬振興事務所前
下呂	10:40～10:50 下呂市民会館駐車場
金山	11:30～11:40 金山振興事務所前

from doctor
ドクター

現在世界中で蔓延している新型コロナウイルス感染症は、人類が初めて経験するウイルスの感染症です。コロナウイルスは、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群（MERS）」ウイルスが含まれます。ウイルスは人や動物、植物に感染し、様々な病気を引き起こします。人で引き起こされる病気には、インフルエンザなどの呼吸器疾患、肝炎や、胃腸炎などの消化器疾患、小児まひや髄膜炎などの神経系疾患、発疹、いぼ、乳頭腫、帯状疱疹などの皮膚疾患、肝がん、子宮頸がんなどの悪性疾患など、様々なものがあります。

ウイルス（RNAウイルス）のはじまりは生物発生の起源にさかのぼるよう

ですが、ウイルスは生きた細胞に侵入してのみ増えていくことが出来る（複製）感染性微生物です。

人類は今まで様々なウイルスに遭遇し多くの犠牲を払いながらも、治療薬やワクチンの開発、予防法の確立などによって克服してきました。しかし、これらのウイルスの多くは現在抑え込まれているだけで、世界のどこかで活動しており、油断するとまた再燃してきます。麻疹や風疹がそのよい例でしょう。

ウイルスは生きた細胞の中でコピーされ増えていきますが、その経過中変異しやすく、何度も感染したり、既存の治療が効かなくなったりするようになります。新型コロナウイルスも変異しやすいウイルスで今後の治療法の開発に影響すると考えられます。

コロナとともに生きる

新型コロナウイルス感染症は確実な治療法がまだ分かっていません。今までの疫学的研究から、移らない、移さないためには、手洗い、マスク、家で過ごす（STAY HOME）、人と物理的に距離を保つ（オンラインの活用、通販の利用）、三密の排除という経験的な方法しかない状態です。ウイルスは人から人へ移るといった特性を持っていることだけははっきりしているのですから。ワクチンや治療薬はまだなくて、ファビピラビル（アビガン）、レムデシビルなどが試験的に使われていますが確実な効果は期待できていません。因みに薬剤名の最後の「ビル」とはウイルスに作用する薬物という意味です。（5月6日現在）

今後、新型コロナウイルス感染症を抑え込むためには、今までの経済活動を続けるこ

とは困難ではないでしょうか。現在における最も有効な解決策はPCRなど検査を駆使して感染者の発見、隔離を徹底することと考えます。無症状の感染者を放置したままでの、経済活動の継続、学校などの再開は、高齢者への感染を増大させ、医療の崩壊、社会の崩壊へと進むことになるでしょう。

想定外の事が続発しているこの四半世紀。経済活動を優先し、保健、医療対策を縮小してきた日本の政策は、社会に未曾有の大打撃を与え、さらなる経済の落ち込みが懸念されます。ウイルスという太古から存在し、姿を変えて現れる微生物に対抗するためには、今までの生活を大きく変える必要があるでしょう。

下呂市立金山病院 顧問 古田智彦